

## 畜産経営情報

### “自給飼料共励会”に積極的に参加して 生産性の向上に努めましょう!

自給飼料の成分は、天候や施肥量、収穫時期、調製具合などにより異なります。

県では、酪農家の皆様方に、栽培された飼料の成分分析を実施していただき、その分析結果を牛の健康維持や牛乳生産及び良質な草づくりに活用していただくため『自給飼料共励会』を開催します。この機会に、是非、共励会に参加し飼料の品質を確かめて下さい。

なお、今回の共励会での飼料の成分分析については、昨年度、畜産試験場に導入した最新鋭の近赤外線分析機を用います。

また、検査料については、JA全農長野県が実施する補助事業「酪農生産基盤維持緊急支援事業」の活用により経費の半額を補助していただくことになりました。

共励会への飼料の出品に詳細については、最寄りの農業改良普及センター畜産担当者(下記)にお問い合わせ願います。

#### <共励会の日程>

➤ 牧草の部	平成26年7月23日(水)
➤ とうもろこし等サイレージの部	平成27年1月中旬
➤ 総合審査会	平成27年2月中旬
➤ 表彰式	平成27年3月上旬(会場:畜産試験場会議棟) ※例年開催する「酪農技術向上研修会」に併せて執り行う。

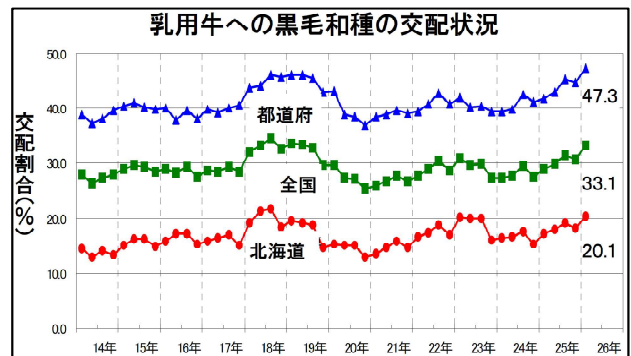
#### <分析内容と農家の負担額>

区分	分析内容	検査経費	農家負担額
乾草	近赤外線分析※	1,300円	650円
サイレージ	近赤外線分析※	1,300円	650円
	有機酸分析(pH、酢酸、酪産、乳酸)	1,600円	800円

※分析内容:水分、粗タンパク質、粗脂肪、粗繊維、粗灰分、可溶性無窒素物、細胞内容物、総繊維、高消化性繊維(Oa)、低消化性繊維(Ob)、ADF、NDF

#### 後継牛の確保は大丈夫ですか?

日本家畜人工授精師協会の調査で、平成26年1~3月期の黒毛和種の交配割合は、全国で33.1%、特に都道府県では47.3%と過去最高水準に近づきつつあります。今後、乳用後継牛の確保が困難になることが懸念されるため、後継牛確保に留意してください



#### ◆問い合わせ先

佐久農業改良普及センター	0267-63-3167	木曾農業改良普及センター	0264-25-2230
上小	0268-25-7157	松本	0263-40-1945
諏訪	0266-57-2931	北安曇	0261-23-6544
上伊那	0265-76-6842	長野	026-234-9536
下伊那	0265-53-0437	北信	0269-23-0221